

平成 29 年度 第 2 回 昭和大学病院 医療安全外部監査委員会 議事録

日 時 平成 30 年 2 月 8 日 (月) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 15 分

場 所 昭和大学病院中央棟 7 階会議室

出席者 監査委員

三宅弘人委員長 (弁護士)、越石孝一委員 (患者代表)、高橋寛委員 (昭和大学藤が丘病院病院長)

病 院 側

板橋家頭夫病院長、小林洋一医療安全管理責任者 (副院長)、城所扶美子看護部長、佐々木忠徳薬局長代行、根本友重医療安全管理者、二瓶友美医療安全管理者、古田康之医療安全管理者、野田秀裕医薬品安全管理責任者、大石竜医療機器安全管理責任者、中村武彦管理課長、久保田浩司クオリティマネジメント課長、嘉本敏子クオリティマネジメント係長、林 晃汰医療安全部門専任事務、谷貝文管理課係長

議 事

1. インシデント・アクシデント件数について

平成 29 年 4 月から 12 月までの報告件数と事例分析について委員から次の意見があった。

1) 「内服」の報告件数が前年度と同様に一番多くなっているが対策は検討しているか。

【病院側回答】

昨年 9 月に着任した専従薬剤師を中心に統計結果分析を進めており、効果的な予防策を検討している。

2) “報告する文化” を定着させて報告件数を増やす努力も必要だが、減らす努力も行っていただきたい。

3) 医師の報告件数が増えている理由は何か。

【病院側回答】

各診療科長、診療科長補佐をはじめ臨床研修管理委員会等で医師、臨床研修医のレポート提出の必要性を呼びかけた効果と、手術予定時間の延長等のバリエーションも報告させるようにしたことが理由である。

2. 新人看護師教育について

新人看護師のインシデント件数、発生事例の分析結果について委員から次の意見があった。

①新人指導については一定期間で終えるのではなく、個々の教育効果の評価に基づいて行えるか検討すること。

3. 院内の転倒転落について

転倒転落発生率と予防策の取り組みについて委員から次の意見があった。

①試行している対策で効果のあったものは、附属病院間で共有すること。

4. 事例報告

事例検討会で検討した事例や警鐘的意義のある事例について説明を行い、原因分析や対策について評価を行った。

5. 次回開催について

今回は平成 30 年 6 月頃に開催予定とし、改めて日程調整することとした。

以 上

議事録作成：管理課 中村武彦